

## 村を守る

## 清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

やさい王国 群馬県昭和村。

群馬県北部の山あいに利根川と片品川が合流し河岸段丘が広がる。雄大な上信越の山々や榛名山をのぞみ、村の東側に行くと、景色は一変し、赤城山の裾野に広大な平地があらわれる。

「昭和」は、昭和33年（1958）、久呂保村と糸之瀬村が一緒になった「昭和の大合併」から名付けられた。

ここでの人々の暮らしは長い。台風などの災害が少なく、縄文時代の遺跡が、川周辺の現在の居住地に多く残る。

かつては養蚕が盛んだった。農家で桑の木を育て蚕を飼い、糸を紡いで収入を得ていた。そのときは、おかぼ、蕎麦やじゃがいもなどが主な農産物

だったが、戦後開拓で広大な農地が整備され、トラクターで土地を耕し、堆肥を入れ、こんにゃくいもの大規模栽培が始まった。

蚕を飼うときに使っていた棚を、こんにゃくいもの種玉保存の温度管理に利用するなど様々な工夫がなされ、日本一の生産地となる。

昭和60年に関越自動車道が開通し、平成10年に開発インターチェンジとして昭和ICが完成したことから首都圏とつながり、高原の涼しい気候を利用して、採れたてのレタスやキャベツ、ほうれん草、トマト、いちごを直送できるようになった。

昭和村は、「消防団のまち」である。団員数が、県下の藤岡市（人口68千人）332人に対し、昭和村（7.5千人）314人とほぼ同数である。これは、消防団員一人が守る住民数が24人であることを意味する（藤岡市204人）。

昭和村で消防団員が多く活躍しているのは、山あいの地域だからかもしれない。広域の消防署から離れているため、「自分たちの村は、自分たちで守る」という意識が強い。

毎年、各分団交代でポンプ操法競技会に出場し、平成14年から4回連続で県代表として全国大会に出場する快挙を成し遂げた。22年には、全国2,474ある消防団のうち優秀な団に贈られる最高栄誉の日本消防協会「まとい」を受賞した。

消防団になると、春と秋の訓練、警鐘を鳴らしての見回り、小中学校での消防訓練のほか、祭や運動会での待機や準備など何かといそがしい。競技会の出場に向けて、夜頻繁に練習が行われる。

地元の子供たちが、村の背骨となって活躍する消防団員の後姿をみて、感動し憧れ、その意義を知り、みんなで村を守る意識が芽生える。

ここに、自治の原点がある。



日本一のこんにゃくいも



## 昭和村（群馬）

人口：7,620人 世帯総数：2,429戸（2010年）

面積：64km<sup>2</sup>（岐阜県高山村とほぼ同じ）

専業農家の世帯総数に占める割合：16%

（全国：1%、群馬県：2%、2010年）

全国の昭和村(町)：福島県昭和村、  
山梨県昭和町

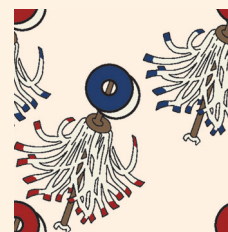
町のあり様について、由布院温泉の中谷健太郎氏は語りました。

小さいから、身近に暖かい関係が生まれる。  
 小さいから、個性的な価値を生み出せる。  
 小さいから、大きな資本を必要としない。

### 日本消防協会 特別表彰「まとい」を受賞した町村

#### 消防団員一人が守る住民数

白石町（佐賀）	21 人	揖斐川町（岐阜）	37 人	湯河原町（神奈川）	124 人
和気町（岡山）	22	吉野ヶ里町（佐賀）	37	精華町（京都）	128
愛南町（愛媛）	23	三種町（秋田）	43	三股町（宮崎）	155
仁淀川町（高知）	23	遠別町（北海道）	45	愛川町（神奈川）	194
宇検村（鹿児島）	24	小豆島町（香川）	46	芽室町（北海道）	239
<b>昭和村（群馬）</b>	<b>24</b>	板柳町（青森）	49		
九重町（大分）	25	日南町（鳥取）	53		
直島町（香川）	26	能登町（石川）	65		
一戸町（岩手）	30	南越前町（福井）	65		
五戸町（青森）	35	川南町（宮崎）	70		



\* 過去10年間（平成14年度～23年度）に受賞した現存する町村

\* 消防団員一人が守る住民数は、町村の人口を団員数で除して算出

（資料）日本消防協会、総務省消防庁、国勢調査2012



全国消防操法大会で放水する昭和村消防団